

## 巻頭言

短期大学部長： 三国 和子



児童学科で実施している宿泊オリエンテーションでは、毎年剣淵にある絵本の館を見学している。「絵本の館」というだけに、行くと必ず子どもも来ているが、騒がしく感じたことが不思議と一度もない。閲覧場所に隣接している木のプールで遊ぶ音も聞こえ、親御さんが子どもに読み聞かせている声も聞こえているのに、である。ここではそれらの音が自然と溶け合って、騒がしさよりもむしろ柔らかな空気感をつくっているように感じる。それも絵本の持つ力なのだろうか。

この11月に、毎年恒例のこどもセミナーを「こどもと絵本～一人ひとりを大切にするために」というテーマで行なった。旭川在住の絵本作家・堀川真氏の講演の他、シンポジウムと4つの講座はすべて絵本に因んだもの。まさに絵本づくしのセミナーであった。

この中のシンポジウムのタイトルは「絵本は誰のもの？」だったのだが、こう問われると自分なりの答えを出したくなってしまふ。私の答えは、「書（描）いて世に出す前までは作者のもの。書（描）いたものが出版されて世に出てからは、読者のもの」である。読者には読み聞かせしてもらふ子どもも含む。絵本は、いったん作者の手を離れてしまえばあとは読者がどのように受け止めようと自由である。絵本に限らず本を読んでいる時は、人も平等に疑似体験でき、自由に想像の翼を広げられる。そして、感動も読者の側に委ねられている。

こう書くと読書はたいへん個人的な経験のように見えるが、一方で、保育の場では保育者がよく子ども集団に読み聞かせをしている。集団への読み聞かせは、個人的な経験を他者と共有することに導く。つまり感動の共有がなされるのであり、このことは文化を創っていく一要因となる。また、他者が自分と同じ感動を共有したという実感は自己の肯定につながる。これは文化の機能のひとつであろう。

今子どもたちは、経済的格差の増大とそれによる貧困、核家族化と地域の機能低下、虐待の増加など、自らの育ちの背景にさまざまな困難を抱えている。一人ひとりを大切にするために、どの子どもにもこうした読書の機会を保障しなければならない。そのことは、来年度スタートする社会保育学科の目指すところでもある。



# 本学教員著書の紹介

平成 24 年 4 月以降発刊

『ポリス的動物 生物学・倫理・政治』古牧徳生訳



スティーブン・R・L・クラーク著  
春秋社、311.1-C【本館】

『卓越の倫理 よみがえる徳の理想』古牧徳生、次田憲和訳



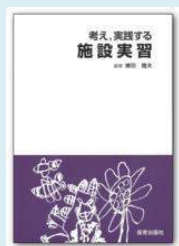
リチャード・テイラー著  
晃洋書房、150-R【本館】

『哲学のアポリア 批判的に思考する』古牧徳生、次田憲和訳



ジェームズ・レイチェルズ、スチュアート・レイチェルズ著  
晃洋書房、104-R【本館】

『考え、実践する施設実習』  
宮内俊一分担執筆



浦田雅夫編著、保育出版社  
現在発注中

『生乳流通と乳業 原料乳市場構造の変化メカニズム』

清水池義治著



デーリイマン社  
648.1-S【本館】

『スポーツと勝利至上主義 日本の学校スポーツのルーツ』関朋明著



ナカニシヤ出版  
375.18-S【本館】

『社会的養護』保育者養成シリーズ 宮内俊一第8章執筆



千葉茂明編著、一芸社  
364.43-T【本館】

\*紙面の都合により、以前、『図書館だより』でご紹介している本は今回掲載しておりません。  
名寄市立大学教員最新研究情報から書籍のみ抜粋しました。

『美しい刻 (とき)』

加藤隆著



アートヴィレッジ  
913.6-K【本館】

『日本の社会教育・生涯学習 新しい時代に向けて』大坂祐二第9章分担執筆



小林文人ほか編著、大学教育出版  
379.021-N【分館】

『あたりまえの暮らしを保障する国デンマーク DVシェルター・子育て環境』上野勝代、吉中季子ほか編著



ドメス出版  
367.23895-A【分館】

『学校における心の危機対応ワークブック 13の事例から学ぶ危機管理と心のケア』小林宏編



金子書房  
364.43-T【本館・分館】

## ※ 選書ツアーに行ってきました！ ※

10月31日（土）、ジュンク堂書店旭川店に選書ツアーに行ってきました。改装された広いフロアをお目当ての本を探してウロウロ。じっくり中身を確認しながら選書すると意外と時間がかかります。

購入した本は学生にポップを付けてもらい展示中です。貸出ししていますので、ぜひお読みください。



[本館展示]



[真剣に本を選ぶバイヤーたち]



[分館展示]

★例えばどんな本が購入されたの？

- <本館> ・『整形外科ガール ケアにいかず解剖・疾患・手術』水健太郎著 南江堂 494.7-S  
 ・『娘になった妻、のぶ代へ 大山のぶ代「認知症」介護日記』佐川啓介著 双葉社 916-S  
 ・『幼稚園・保育園で人気のうた』ケイ・エム・ピー 763.2-Y など
- <分館> ・『下層化する女性たち 労働と家庭からの排除と貧困』小杉礼子, 宮本みち子編著 勁草書房 367.21-K  
 ・『ハートに伝える食育教材 ふなばし発!手作り食育グッズ 作り方から伝え方まで』板良敷信子, 大久保仁美著 健学社 374.97-I  
 ・『認知症新時代 私らしく生きる』毎日新聞生活報道部著 毎日新聞出版 493.75-M など

## ※ 新着 DVD 紹介 ※

今年も続々と DVD が入荷しています。実習の前に、図書だけでなく映像でもしっかり学習できます。映画もありますので、息抜きにもご利用ください。

### 【社会福祉分野】

- ・高齢者ケアシリーズ Vol.1~5
- ・生体のしくみ第5~8集



### 【保育分野】

- ・さまざまな職場
- ・続・保育者を目指すあなたへ

### 【社会分野】

- ・ハーバード白熱教室 1、2~6
- ・サイレントプア（解説付き）



### 【映画】

- ・そして父になる
- ・スラムドッグ&ミリオネア
- ・私のなかのあなた など



### 【統計分野】

- ・人口動態統計時系列データ
- ・国勢調査人口時系列データ

# ☆ 図書館ガイダンスのお知らせ ☆

1年生を対象に前期に行った基本的なガイダンスに続き、後期はデータベースの使い方や、論文を探すガイダンスを行っています。未受講なゼミは至急お申し込みください。他学年向けには、卒業研究、総合演習に応じた内容で随時受け付けています。2名以上のグループ単位でお申し込みください。

今後の学習に役立つ図書・資料の探し方を習得するチャンスです。詳細は図書館 HP に掲載されています。

## 🌱 パスファインダーを利用しよう！ 🌱

パスファインダーとは、ある特定のトピック（主題）に関する資料や、情報を収集するための探し方をまとめた印刷物（ツール）のことです。みなさんがレポートや論文を書くために情報を収集する際に、必要な資料や探し方が掲載されています。ぜひ参考にしてください。

例えば：

[栄養学科] 災害時の食、食育、スポーツ栄養、食品ロス など

[社会福祉学科] 更生保護、少子化、発達障害、貧困、介護保険 など

[看護学科] 小児看護、精神看護学、在宅看護学、名寄市 など

[教養・教育関係] 経済、哲学、環境問題、社会学、ジェンダー など

[児童学科] 昔話、宮澤賢治、ビアトリクス・ポター、おもちゃ など

皆さんが基礎演習2のガイダンスで使用した「レポートを書こう」もあります。



## ❄️ お知らせ ❄️

### <開館時間の変更のお知らせ>

12月28日（月）～ 2016年1月8日（金）  
開館時間：午前9時～午後7時  
休館日 12月29日（火）～1月5日（火）  
図書館 HP「開館カレンダー」でご確認ください。

### <土曜・祝日開館のお知らせ>

1月16日（土）、23日（土）、30日（土）、  
2月6日（土）、11日（木）  
開館時間：午前9時～午後4時  
この機会に利用してください。

### ～☆～☆～☆～ 編集後記 ～☆～☆～☆～

あなたにとって2015年はどんな年でしたか？  
自分の中で、今年を漢字一文字で表すと何になる  
のでしょうか？来年はどんな年にしようかと考え  
つつ、総仕上げの年末、新しいスタートの年明け  
を元気に迎えましょう。



図書館だより 2015年第3号

2015年12月15日発行

名寄市立大学図書館運営委員会

〒096-8641

名寄市西4条北8丁目1

名寄市立大学図書館